



# INDONESIA MISSION



発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 Tel：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」



コロナで直接会えなくても！  
～舎監たちとのZOOM会議～

クリスマスおめでとうございます。

コロナ禍の中でのクリスマス。闇の中に輝く、いのちであるイエス様が益々輝きますように。

11月初めに上記の写真のように寮の舎監たちとZOOMミーティングを行いました。いつものミーティングのようにみんなで一緒に賛美しましたが、ZOOMでは一人一人の声が微妙にずれるのでみんな音痴になってしまって大笑い。なかなか現地で会えないですが、こうやってオンラインで繋がって心がほっこり、うれしくなりました。

私がインドネシアに行った頃は、連絡するのに舟で川を上る人に手紙を託して(それがよく渡し忘れがあり、連絡がとれないことしばしば)、「今は江戸時代か？」などと思っていましたが、こんなに便利になるとは。そして、それにも増して、現地で宣教の働きを任せられる同労者たちがいるのは、何と感謝な事かと思っています。



インドネシアミッション代表 高橋 めぐみ

## スルートウンバン村 グロリア寮Ⅱ インドネシアミッション代表 高橋めぐみ 「グロリア寮Ⅱについて電気が！」

電気がつくというのは、私達にとって当たり前の事ですが、それがニュースとなり喜びとなる地域はまだあります。スルートウンバン村もその一つです。それが、ついに電力会社による電気が通る！とグロリア寮Ⅱのヘルマヌスから写真と一緒にそのうれしいニュースが先日送られてきました。

2001年頃に、私は初めてスルートウンバン村に入り、2003年に旧グロリア寮Ⅱが建ちました。電気がないため夜は真っ暗で、コーラの空き缶などでつくった手作りの灯油ランプが部屋を薄暗く照らしていました。電気がないと困る事はいろいろありましたが、一番の悩みは、夜は暗いため子供たちが十分勉強できない事でした。

それから7、8年前だったと思いますが、川での水力発電で電気が通るようになりました。その時も村は大喜びでした。ただ、近くの川に設置された発電機なので、水量で電圧が左右されたり、時々故障して停電となっていました。また各家に電気のスイッチがないので、電気をつけたり消したりできませんでした。ですから夜になると、一斉に電気がつき翌朝まで村中が明るいまま、睡眠不足の影響はないのか、と心配しました。また、使用できる電力は小さく、電球と携帯の充電、テレビなどのみ使用可能でした。毎日暑いインドネシア、冷蔵庫を置くのが彼らの夢でしたそれが、ついに電力会社から供給される電気が通る事となったのです。

20年前、「インドネシアは1945年に独立したけれど、私達はまだ独立していません」と言っていた村人たち。その村が今、どんどん開発され、変化していています。その変化と共に歩んできたグロリア寮。便利さと共に押し寄せ、入ってくるものを見分けて対応していく必要があります。



グロリア寮Ⅱのチャペルでも配線工事です

## エンティコン グロリア寮Ⅰ インドネシアミッション編集委員 東 聖士



斜面に草が定着してきました！

斜面の施工を行ってから1年9ヶ月経ちました。大雨によって崩れることを心配していましたが、感謝なことに守られています。工事して2回目の雨季を迎えていますが、月日の経過によって地面が固まり、雑草も伸びてきて、さらに崩れにくくなっています。ただ大雨の力は非常に強いので油断できないため、さらなる対策として、雨樋の設置を検討しています。舎監が自分たちで大工へ依頼して進めている姿は頼もしい限りです。

学校は9月から新年度が始まりました。新たに多くの入寮申し込みがあって、現在中学生から大学生まで合わせて、74名の子どもが登録されています。残念ながらコロナの影響で、中学校も高校もまだ以前と同じように再開出来ていませんので、今は特に遠隔地の子どもと大学生合わせて10名ほどしか入寮していません。もし全員が入寮すると、台所やトイレが足らなくなるので、台所とトイレの増設を検討しています。たくさんの寮生が与えられるのは、寮での生活を導く舎監と、健やかに成長する寮生によるものだと思います。この寮が、ますます地の塩、世の光として用いられるように期待しています。

## カリマンタン島西部地図



## プニティ・アナスタシス教会

フレンキー・シマンジュンタ 牧師

### シャローム

今日までの神様の忠実な愛、神様の恵みに感謝します、主はいつも良い羊飼いとして共にいて導いて下さっています。Covid19のパンデミックにより、インドネシアだけでなく、世界中が強い衝撃を受けました。西カリマンタンでも政府より外出制限があり、在宅勤務など企業や教育現場において制限がありました。

コロナウィルス感染拡大の中で州が規制を施行して、私たちプニティ・アナスタシス教会もしばらく自宅で礼拝を守り、教会で礼拝や他のいっさいの活動をストップしました。ちょうど5か月前でした。しかし、主を賛美します。数か月が経ち、私達は通常通りの礼拝を始めました。手洗い、教会に入る前の消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスを取る事、特に高齢の方とは握手をしないなど、予防対策を徹底しています。ただ、まだ子ども達は教会で礼拝が出来ません。早く教会学校を再開できるようにお祈りください。

教会は先日旧役員の不在を埋めるために、新しい秘書と財政担当者を選びました。秘書としてダウド氏、財政担当者としてメリディアナ・コリン氏が2020年8月18日に決まりました。

また、感謝な事に受洗した青年たちもいます。シンファト兄、シャオリン姉、イエニ姉、とアグステリアニ姉で、2020年8月18日に受洗しました。11月1日、シンファト兄とエリカ・アブラハム姉の結婚式が感染対策をしながら行われました。現在はジョニー兄とアウグティアニ姉の結婚式の準備中です。

私達の教会を支援し祈り続けてくださっている皆様に深く感謝いたします。主イエス様がいつも祝福してくださいように。



プニティ教会メンバー



フレンキー先生ご一家

## ブンカヤン・ベラカ寮、卒業生の今 ベラカ寮舎監 ジュマディ兄

### Septiana Eka Arisna (Eka)

セティアナ・エカ・アリスナ (エカ)

エカは寮の2期生の卒業生で、2008-2011の寮生でした。ブンカヤン第2国立高等学校へ通っていました。高校を卒業後に、ブンカヤン県政府から奨学金を受けて、助産師になるために学び続けました。昨年2019年に結婚し、ポンティアナックに住んでいます。現在、エカはポンティアナック・ジュンパ病院で働いています。

リオ兄 ご家族と



エカ姉、ご夫妻でツーショット

### Ajakario (Rio) アヤカリオ(リオ)

リオはベラカ寮の第1期生(2007-2010年)で、シャローム・ブンカヤン高校に通っていました。高校卒業後、経済が限られていたため、学業は続けられませんでした。幸運なことに、卒業後すぐにポンティアナックで就職しました。(農村共同組合で働いています)2012年に結婚し、現在2人の娘がいます。今は家族と一緒にスカダウ地区(西カリマンタン)に住み働いています。

## グロリア寮Ⅱ舎監の証し

フィカル兄

シャローム！スルートウンバワンのグロリア寮Ⅱでフェルナンドの後、舎監として奉仕しているフィカルと申します。私は5人兄弟の末っ子です。3人の男の子、2人の女の子の5人です。私の両親はごく普通の農家です。父は教会が開拓された当初から事務や役員をしており、今も世話役をして26年になります。母もまた、身体が弱い時であっても神様に忠実に従っています。4、5年前に脳卒中になり麻痺状態になりましたが、今は回復している事を神様に感謝します。

ATI神学校は日本から奨学金サポートを受けて卒業する事ができました。感謝しています。卒業後はお礼奉公として3年間、東ヌサ・トゥンガラ州東スンバで奉仕しました。

私はATI神学生の時、2010年12月に神学生有志チームで初めてスルートウンバワン村に来、そしてスンクン族地域で奉仕して以来ずっとスルートウンバワンに重荷を持っていました。卒業後の東スンバで3年間の奉仕も終わり西カリマンタンに戻ろうとした時に、ある偉い牧師から、彼の教会のランチを牧さないかと申し出を受けました。それは完全に整えられた環境で、車、住む場所、十分な給料、そして結婚相手さえも、私の為に約束してくださいました。でも、私は辞退しました。その時私の心にあった事は故郷に帰ってスルートウンバワンへ行きたいという気持ちでした。

実家に戻った後、ヘルマヌスが電話してきました。そしてスルートウンバワンで舎監として働かないかと私に聞きました。その時は、前舎監のフェルナンドが退職する数か月前でした。同じ頃、パパア、バンドン、サンバス、クタパンからも奉仕の誘いがあり、GMII教団からジャカルタへ派遣される話もありました。しかし、私はいつもスルートウンバワンの事を思っており、行く事が困難で、なかなか人々が訪れようともしない奥地(スルー・トゥンバワン)に住む子供たちを教育し育てるために自分を捧げたいと思っていました。彼らが可哀そうで気がかりでした、なぜなら彼らの地域は僻地で非常に悪い交通状況(ひどい道)で、私も丸太の橋をバイクで渡っていた時に落ちて腕を骨折したこともありましたが(主イエス様は良いお方です。今は回復して元通り奉仕する事が出来るようになっていきます)。もしも私が行って仕えなければ、一体誰がこのような特別な重荷を負って来るだろうか、と思いました。これが私の証です。イエス様が皆様を祝福してくださいますように。



左から3人目がフィカル兄

## マレンデス先生ありがとう

高橋めぐみ

なかなか収束に向かわない新型コロナウイルス感染拡大ですが、カリマンタン島のATI神学校でもスタッフ、学生に感染者が出て、9月の約1か月間、学校封鎖になりました。皆回復し、今は感染予防対策を徹底しながら授業や集会など再開しています。しかしその中で、古くからの教師であるマレンデス先生が重症になり、そして天に召されていきました。

マレンデス先生は、勤勉で、優しく、そしてユーモアたっぷりの先生で学生たちに大変慕われていました。亡くなったという知らせを受けた卒業生たちは「私たちの模範、マレンデス先生」というコメントをSNSに載せていました。

私個人としてもATI神学校赴任以来、いつも何かと助けていただいていたのですが、特に向こうでの生活に欠かせない「水の確保」で大変お世話になりました。赴任当初、宣教師館には井戸がなく、水不足に悩まされていました。でもそこへ井戸堀職人を連れてきて井戸を見つけてくれたのはマレンデス先生でした。そして地下17mからポンプで水を吸い上げるのですが、パイプやポンプや電源などのトラブルがあるたびに、忙しいのに駆けつけてくださり、暑さの中、忍耐強く原因を探って直してくださいました。マレンデス先生は、体は丈夫な方でなく、よくお腹を壊していましたが、「日本の正露丸が一番効く」という事で日本からのお土産はいつも正露丸と決まっていました。

このように親切で、主のため人のため、労苦を惜しむ事無く仕えてきたマレンデス先生の最期が、コロナの故お葬式もできず、埋葬にも家族や、学生、スタッフ達に立ち会ってもらえなかった事はショックでした。しかし、世界中で同じ悲しみの中にいる人達に寄り添い、またその悲しみを私達に教える存在として主が許されたのでは、と思わされています。そうだとすると、それこそマレンデス先生らしい、と。マレンデス先生ありがとうございました。ご家族の上に続けて主の慰めと助けがありますように。



お元気な頃のマレンデス先生

# 「インドネシアミッション」会計報告

(2020年7月1日～2020年10月31日)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
一般献金	2,321,960	活動費・ATI神学生他援助	1,430,000
ATI神学生奨学金指定献金	199,000	ベラカ寮	20,000
プニティ・エンティコン指定献金	40,000	●族ミッションハウス建設援助	500,000
大学生奨学金指定	1,505,000	個人指定	24,000
個人指定	54,000	大学生奨学金	1,500,000
子供たち指定	330,000	ニュースレター印刷代・発送費	82,790
胡椒プロジェクトからの奨学金	5,000	事務・雑費等諸経費	59,590
収入合計	4,454,960	支出合計	3,616,380
6月末残高	3,540,237	繰越金	4,378,817
合計	7,995,197	合計	7,995,197

建設中のミッションハウス。  
柱が立ち上がってきました。



## 毎月の現地支援金額内訳(2020年7月～10月の月平均額)

支援先	金額(円)
エンティコン・グロリア寮Ⅰ	44,481
スルートウンバワン・グロリア寮Ⅱ	52,540
ブンカヤン・ベラカ寮	45,995
ATI神学校	33,331
高校生支援	91,110
大学生支援	120,813
●族★族支援	50,974
プニティ・アナスタシス教会	5,566
アンテオケ館維持費	2,805
特別献金	245,267
(ミッションハウス建築費、 ATIプロスコネオ高校生寮改修費援助)	1,355
通信費・銀行手数料	1,355
合計	694,237

※前号より、クリスチャンパートナーズ、胡椒プロジェクトよりの奨学金、一教会または一個人から個人指定されている奨学金、支援金も含めてご報告しています。

### 編集後記

コロナ禍が長期化し、イースター、ペンテコステに続き、クリスマスも不自由の中で迎えようとしています。しかし表紙写真のように、困難にあってもまた新たな方法で関係は豊かにされています。クリスマスは季節、皆様に祝福と守りが豊かにありますように。

インドネシアミッション委員 檜垣正裕